

「税を考える週間」は、国民生活に深いかわりを持つている税について、その意義（必要性）及び役割（使途）や税務行政の現状を分かりやすく説明するとともに、国民の皆様に、税の仕組みや目的を考えて、国の基本となる税に対する理解を深めていただくために設けられているものです。

今年度は「IT化・国際化と税」をテーマとして、経済活動のIT化・国際化をはじめとした社会・経済情勢の変化に伴う税務行政の様々な取組について、広報・公聴活動を行うこととしています。

また、この期間、給与所得者や主婦、児童・生徒などを対象とした「租税教室」の開催など、税を身近なものとして考えていただけるような行事を企画しています。

「租税教室」の開催希望は、知覧税務署まで。

11月11日から17日までは「税を考える週間」です。

税金は、私たち国民が健康で豊かな生活ができるように、国や地方公共団体が活動を行うための大切な財源です。

「税を考える週間」は、国民生活に深いかわりを持つている税について、その意義（必要性）及び役割（使途）や税務行政の現状を分かりやすく説明するとともに、国民の皆様に、税の仕組みや目的を考えて、国の基本となる税に対する理解を深めていただくために設けられているものです。

今年度は「IT化・国際化と税」をテーマとして、経済活動のIT化・国際化をはじめとした社会・経済情勢の変化に伴う税務行政の様々な取組について、広報・公聴活動を行うこととしています。

また、この期間、給与所得者や主婦、児童・生徒などを対象とした「租税教室」の開催など、税を身近なものとして考えていただけるような行事を企画しています。

「租税教室」の開催希望は、知覧税務署まで。

年末調整説明会を開催

源泉徴収義務者の方を対象とした年末調整説明会を次のとおり開催します。

日時 11月11日（水）
午前10時～正午

会場 南薩地域地場産業振興センター3階大ホール

※今年度は午前中のみです。

給与所得者の年末調整について

12月は、給与等に係る源泉所得税の年末調整の月です。

毎月の給与等から源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する年税額とは一致しないのが普通です。

このため、源泉徴収税額の過不足分を精算する必要があります。この手続を「年末調整」と呼んでいます。大部分の給与所得者は、年末調整により、その年の納税を完了することになりますので、年末調整が正しく行われるためには、勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。

詳しくは、知覧税務署まで。

今月のテーマ

専門を生かした職場体験

鹿児島水産高校を卒業する生徒の多くは就職します。しかし、安易に就職先を決めても本人や企業、社会のためになりません。そこで、鹿児島水産高校では、県内企業に生徒を受け入れてもらう職場体験を実施しています。写真は、将来の水産業の『担い手』として、各学科・コースごとに職場体験を頑張る水産高校生たちです。

★海洋科（3つのコース）



○海洋技術コース

船長、漁労長を目指し、地元漁船に乗り込んでの漁獲や網の手入れをおこなう定置網実習



○機関コース

機関長を目指し、主機であるエンジン関係の説明と、分解方法を学ぶ整備実習



○栽培工学コース

養場整備のために、圧縮空気ポンプを使用した潜水によるオヒト駆除実習

◎明日を担う専門系高校 様々な職場体験を通して 生徒の成長および卒業後の進路をサポート



★食品工学科

地元産の魚をさばいたり、さつまあげの製造作業と一連となって取り組んでいる食品販売実習

★情報通信科

漁業無線局員や、人工衛星管制設備、航空機の管制技術官を目指して、保守・点検業務実習

宝くじ助成



宝くじ助成で棒踊り衣装等を購入
～山口棒踊り保存会

山口棒踊り保存会では、今年度、新たに衣装や音響施設を購入しました。これは、宝くじの普及広報事業費を財源とするコミュニティ助成事業により実施したものです。これらの整備により、更なる活動の活性化と伝統文化の継承が期待されます。



犯罪のない明るいまちづくりへの功績を称え表彰
～立神地区防犯パトロール隊

10月9日に開催された全国地域安全運動鹿児島県大会で、立神地区防犯パトロール隊（田中幸喜 隊長）が、県防犯協会と県警察本部から表彰を受けました。これは、同団体がかねてから地域安全活動並びに少年の健全育成に尽力し、明るいまちづくりに寄与した功績が認められたものです。



枕崎港周辺を総勢176人でボランティア清掃
～シルバー人材センター

枕崎市シルバー人材センター会員によるボランティア清掃が10月15日、枕崎港周辺で行われ、176人が参加し、草刈や除草など約2時間の作業を行いました。この日は、全国で「シルバー人材センター事業普及啓発促進キャンペーン」が展開され、その一環として行ったものです。



お魚センター看板をボランティアで塗り替え
～枕崎高校美術部

枕崎高校美術部の生徒3名と顧問の先生が9月26日、お魚センター看板の塗り替えをボランティアで行いました。約6時間の作業で看板はピカピカになりました。参加した永澤美友さん（2年）は「思った以上に大変だったが、充実した時間だった。また描きたい」と話してくれました。

ボランティア ありがとうの気持ちです。